

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成 28 年度 第 5 回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成 29 年 2 月 24 日（金）10:00～11:30

2. 場所：札幌第 1 合同庁舎 10 階共用第 4 会議室

3. 出席者 27 名

北海道開発局、北海道運輸局（2 名）、第一管区海上保安本部海洋情報部、北海道地方環境事務所、北海道（3 名）、札幌市、北海道立総合研究機構（2 名）、日本測量協会北海道支部、北海道測量設計業協会、北海道 GIS 技術研究会、北海道 GIS・GPS 研究会、日本写真測量学会北海道支部、Digital 北海道研究会、北海道高度情報化農業研究会、スペーシャリストの会、北海道大学、酪農学園大学（2 名）、国土地理院（5 名）

4. 議事

- (1) 地理空間情報の活用推進に関する国の取り組み
- (2) 学校への白地図等の提供について
- (3) その他

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第・出席者名簿
- (2) 発表資料
 - ・地理空間情報の活用推進に関する国の取り組み（国土地理院企画部地理空間情報企画室）
 - ・学校への白地図等の提供について（国土地理院北海道地方測量部）
- (3) その他
 - ・防災・減災対策空間情報活用セミナーちらし（北海道 GIS・GPS 研究会）

6. 議事概要

今回の会合は、次の 2 課題の発表を行った。

- (1) 国土地理院地理空間情報企画室より、地理空間情報の活用推進に関する国の取り組みについて説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。
 - ・総務省等が中心となってオープンデータを推進しているが、国土地理院の公開する情報もクリエイティブ・コモンズ (CC) ライセンスで公開するようになるのか。→CC ライセンスと互換性のある政府標準利用規約に基づき定められた「国土地理院コンテンツ利用規約」に従い公開している。測量成果の利用にあたって測量法に定められた手続きが必要となる場合等を除き、出典を明記すれば利用できる。
 - ・次期基本計画が策定された後 G 空間行動プランの策定はいつ頃になるか。シンボルプロジェクトの内容は G 空間行動プランに記載されるのか。→G 行動プランの策定は基本計画が策定されたあと作業をするためとりまとめに一定の時間がかかる。シンボルプロジェクトは次期基本計画に記載されているが、行程表などは

推進会議決定で定められる予定。

(2) 国土地理院北海道地方測量部より、学校への白地図等の提供について説明が行われた。質疑の概要は次のとおり。

- ・今回の取組では一番使ってもらいたい地理院地図を使っていない。グーグルではなく地理院地図を使う理由として土地利用の情報も重要なので更新してほしい。地理院地図のベクター化を進めてほしい。2万5千分1地形図で図上4cmが距離1kmということを地理院地図にそのまま適用して4cmが距離1kmと間違える人もあるのでこのような取り組みで説明もした方がよい。
- ・江別市の小学校で3時期の空中写真を大きく出力して地域の移り変わりを教えている。旧版地図や白地図も組み合わせると効果的と思われるのでぜひ協力してほしい。
- ・タブレットを使う取り組みもできる。Geospatial PDF と GPS があればオフラインでも使える。野生動物の生息域や移動経路など理科の分野での利活用という切り口もあっていいと思う。
- ・小中学校の先生は地理院地図や国土地理院 HP を知らない方も多いので教育委員会を通じて普及を図ることもよいのではないかと。

7. その他

北海道 GIS・GPS 技術研究会から防災・減災対策空間情報活用セミナーの案内が行われた。平成 29 年度第 1 回情報共有会合は 5 月頃を予定。